

1. 【研究の概要図】

この応募用紙に記載する研究の概要を1頁以内で図式や分かりやすい色を用い、概要図を作成してください。

※様式の変更・追加は不可（以下同様）

研究課題名：特定の光波長をコントロールするレンズが展示印象に与える効果

研究の背景・課題

美術館照明の課題

- ◆美術館・博物館の展示照明は一般的な室内より暗め。
- ◆「作品をよりよく見せる」観点では最適とはいえない（西川・北岡，2021 他）。
- しかし作品劣化防止のため照明は現実的に変更不可。



課題の解決策

- ◆課題解決に、光波長をコントロールするレンズ (NeoContrast、以下 NC レンズ) 装着が有効である可能性。
- ◆NC レンズにはコントラスト感度上昇 (坂本，2010) やどの色相でも色が鮮やかに見える効果 (西川・北岡・西本，2021) あり。
- ◆予備調査として行った PC 上の絵画鑑賞実験では、NC レンズ装着で鮮やかさや美しさなどの評価が向上 (西川，2021)。



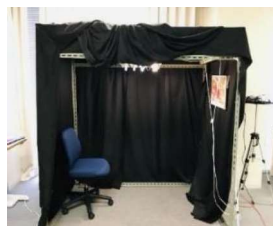
585 nm の光波長 (イエローライト) を選択的にカットする NC レンズ

これからの研究計画

- ◆本研究では NC レンズ装着が絵画の印象に与える効果を調べる。NC レンズは作品を鮮やかに、美しく等効果的に鑑賞し、実際の展示でも応用可能なツールとなることが期待。

研究 1

- ・実験室で学生が参加。
- ・様々な色の絵画を鑑賞し、NC・無色透明レンズ装着で印象評価。



研究 1

展示を再現した実験室で様々な絵画への効果を調べ

研究 2

- ・高齢者を対象。方法は同じ。
- ・NC レンズは元々高齢者等に効果が高いものとして作られ、年齢が上がるごとに芸術作品に感動しなくなるといふ報告も存在するため。



研究 2

年齢に関係なく普遍的に効果があるかを確かめ

研究 3

- ・実際の美術館・博物館で実施。
- ・参加者が自由に移動して鑑賞し、絵画を NC・無色透明レンズ装着で印象評価。



研究 3

実際の展示でも有効な方法であるかを調査する

展望

心理学の知見をもとに、美術館・博物館と共同で、作品をより魅力的に鑑賞できる展示環境プロジェクトを確立。